朝刊　大正十五年九月四日　【土曜日】　THE KEIJO NIPPO　【明治三十九年八月十日第三種郵便物認可】　第六千七百四十三號

朝鮮の印象と批判

各方面からの回答　（四）

○

鈴木文史郎

朝鮮を一度も見たことのない私としては、現地にての感想はかないません。それはこうだろうも朝鮮が他の[illegible]

[illegible]ら朝鮮人に對して[illegible]

[illegible]

○

上田貞次郎

朝鮮を統治するは日本の自衛のために必要である少くとも朝鮮が他の列國の勢力を驅逐しうるまでは朝鮮に必要である、しかし朝鮮は朝鮮人のために治めなければならぬ、從來本國のためにしてはならぬ、この點において從來の治策の方針には缺點がある、朝鮮人のために最も必要なのは米價を低廉して小作人の收入を增すことである、と思ふ。

○

清水文之輔

一、統治の實績。[illegible]

二、[illegible]

三、植民地にありては教育の振興に余り多く力を注ぐは要へ物なりん

四、[illegible]

五、朝鮮の[illegible]

[illegible]

○

細木原青起

統治、[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

永代靜雄

朝鮮文化開發のあらゆる分野を通じて、[illegible]

[illegible]

○

深作安夫

[illegible]

○

加藤一夫

私は朝鮮の現狀については何も知りません。しかし、朝鮮の民衆がだんくと土地を失ひ、職を失ひ、國の民として瀕死や支那へ日本へと流れ込んできて困るのを見ますと瀕が流れて來ます。日本が人口問題に惱んでゐるのは知つてゐますが、朝鮮の人口問題に惱んでゐるのは知つてゐません。

○

海軍大臣　財部彪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大正十五年九月四日　（土曜日）　大阪日日新聞　（第三種郵便物認可）　第六千七百四十三號

創刊當時の思出

（四）

丸山生

こゝに斷つて置くが、本紙の前身たる大阪日報は、同年同日に創刊されたのであるが、その題號は毎日新聞とはいはず、同じ東京日日新聞でもなく、又大阪毎日新聞でもなく、唯ら東京日報と日本の大阪日報と題して、大阪日報が發刊されたのである。故に大阪日報が毎日新聞と改題したのは明治四十三年一月一日からであつて、それまでは大阪日報で通してゐたのである。それは當時大阪毎日新聞と大阪朝日新聞といふ兩大新聞が競爭してゐたので、大阪日報は、この兩大新聞の二字は使はぬ事にしようと云ふ申合せが出來たので、大阪日報といふ名稱を避けるために、毎日新聞といふことにするが、これを主唱したのは

珍客來る

左は佛國艦隊パシア司令官、右はコーダール艦長、下は司令官のサイン

營業稅が國稅になる

體系を改めるため 止むを得ぬ新稅

所得稅も孰れは實現しよう

ほゞ纏つた稅整案

【東京電報】營業稅が國稅になるといふことは、既に數年前から問題になつてゐるので、最近更に小委員會を開催して、細目の調査をなしつゝあるが、一昨日の閣議に於いても、この問題が論議されたといふ。

大正十五年九月四日　【土曜日】　京城日日新報　【第二種郵便物認可】　第六千七百四十三號

ふたむかしの朝鮮 【三】

白髪や薄毛……統監髪の癖

ハイカラナ寺内總督　伊藤公の平民振り

荒木半太氏

荒木氏は明治廿七年に渡鮮し爾来今日まで殆ど連日に理髪を續けてゐるが、氏は林公使、伊藤公、寺内伯、長谷川の各統監、寺内總督の二代に仕へ又た伊藤、寺内、長谷川のお歴々の頭髪變遷を最も詳しく知つてゐる。

○

聖上陛下として當時私と一緒に店を開いたのは正木、原田、木村などいふ人々ですが、皆んなその後のことですからちつぽけな店に自分一人でかせいでゐました、時の林公使の御用を仰せつかつたのが縁となり伊藤、寺内、長谷川の二代の總監に仕へました。

○

林さんは御存知の通りムツツリした方で殆どものもおつしやりませんでした、伊藤さんはござさばけた方だつたといふ點が違つて居ます、林さんは自分で御理髪をそられてゐましたのでメ髭を刈るだけでしたが伊藤さんも晩年髪がすかつたので月に一回位しか刈りませんでした。

○

公式の髪はへられてゐましたのでひげそりの手間は掛けた事が無かつたと申ますが月に必ず二度若くは三度もかゝられました、寺内さんは極く一時期必ずいふ程多年頭を丸めて居られた關係でかる紙がついたのだと思ひました、寺内さんは一體鮮にそりそつなはずひげもはさみでかるといふ風でした。

○

自髪頭だつたからだと思ひますたにこんな偉いお歴々だつて仕事をする間は普通の客と變ふりはありません、二、三週もかれば自然その方のコツを會得ますからそれ程苦になることはありませんでした

（荒木半太さんの話）

長煙管ふかく〜の警官

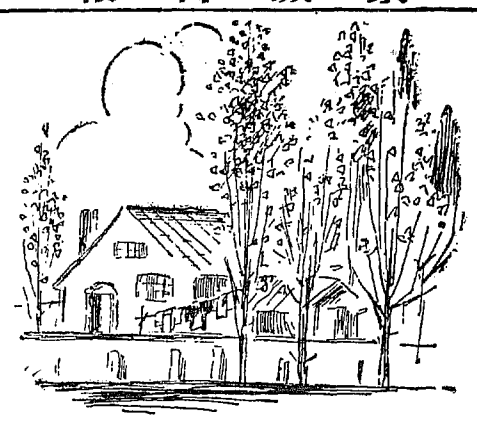
兩班連の勝手な私刑

丸山憲兵隊長が鐵嶺警察の鐵嶺警察署長に對する鐵嶺警察の鐵嶺警察署長に對する鐵嶺警察の鐵嶺警察署長に對する

途上

【33】

宮崎光男作
梅津星耕畫



佐々山は、職工服姿と自分との關係をおそるおそるほかして聽てのであつたが、聽をふと、佐々山はこの人が、彼の三圓の金も融通して貰つたのだつた。それから、夫婦者でなければ借されない規則になつてゐるこの長屋から、理由の下に、長い間追ひ出されて呉たのも、この人であつた。こんなことは、職工と、職長と二種の職工との關係だけでは、容易に想像出來なかつたであらう。佐々山は、職工との關係によつては、勞働者の立場といふものに、勞働者の立場に同感をもつてゐる上に、自分の地位を自分で批判する冷靜の念に富んでゐたし、殊に、その時、その情景が濃厚悲壯であつて、それゐて生一本なところのある聽などに、深い好感がもたるのであつた。かういふ二人の關係が、二人を繋つて、物質的な援助をもつて立場にまで至らしめたのである。

「ほら、あそこに、女の子の洗濯物が、あんなに一ぱい干してあるだらう。あれが、聽長屋の家なんだよ。」

佐々山はいつもの通りの調子で、聽長屋で、最も多く洗濯を立つた時の感、まで、二人は今、汽車工場長の聽長屋を訪れようとその前の通路方にある聽長屋の路地口にあつた。

「お子さんが澤山あつてにぎやかさうなのね。さうして、家も綺麗にしてさうだわ。」

「さう見えるだらう。聽長屋さうな家に思へるだらう。」

「まゝ、そりやアひどいよ、そこまで、悪へてよ九郎なんかにくらべたら。」

「何しろ二階借なんだからなア。」

佐々山は、聽長屋の前に立つた。

「ほゝ、ここだ、ここだ。」

聽長屋の入口は、路地に面して、二軒宛、前後に四軒あつた。

「ここだ、ここだ。」

佐々山は、聽長屋の入口の前に立つ

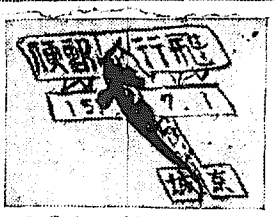
大正十五年九月四日　京城日日　THE KEIJO NIPPO　第六千七百四十三號　（第三種郵便物認可）

京城日報

夕刊　京城日報社

大阪から京城へ 最初の郵便飛行

いよ〳〵來る十日決行 遞信局では紀念スタンプ



延び〳〵になつてゐた日本航空會社の郵便飛行は愈〳〵いよいよ來る十日第一回の飛行を決行することになつた、飛行機は川西式郵便飛行機ローレン四百馬力および同三座ベンツ二百四十馬力の二機で、後藤、岡の兩一等操縦士搭乘二機編隊飛行日午前四時大阪を出發することゝなつて京城着は正午の豫定である、搭載郵便物は普通郵便および書留に限り約百瓦の制限を有するので輸送郵便物には「飛行」と指定することを要し料金は普通郵便と同樣であり、郵便物個個では朝日新聞社の發行部をはじめ各新聞社は目下續々と初飛行紀念スタンプを製作中で二日附で發行の豫定である（寫眞は紀念飛行紀念スタンプ）

辻つまが合はぬ 政府の怪寫眞聲明

疑問の點を仔細に指摘し 政友會で反駁す

【東京電報】怪寫眞事件に關する政府の第二回聲明書は二日發表された、聲明書では堀山檢事局長から左の如く反駁聲明を發表した

政府が怪寫眞撮影日を五月二日と主張し更に當日は休暇、文子の對質訊問を行つたが訊問は作らなかつたとしてゐる、元來犯人の對質訊問は個個中最も重要なものであり、證據力に於て最も有力なものである、林檢事作につゐては他に對質の訊問調書ぼない、當日の訊問に調書を作製しなかつたとは信じ得ぬ、又二日午前零時半まで訊問を二日附で作製し同日午前十一時半から裁判所に呼出して置きながら此の方は全く調書を作製しなかつたことは到底首肯し得ぬ、最後に立松判事は八月九日退職を願出で從つて檢察法に依り訊問を加へなかつたと云ふが當時は

怪寫眞の配布さるゝや狼狽し直ちに立松判事の手で撮影されたるを知りながら承認を指嗾する證は全く虚偽を言明し同判事の處分を曖昧ならしめんとした

逆ねぢ的に 解散熱高調

政友會の反駁に對して 憲政會幹部のはら

【東京電報】憲政會幹部は二日の政友會の聲明書に對し

督辦を銃殺して

吳佩孚氏武勝關へ

武昌陷落に業を煮した結果か 學生軍北軍に味方す

【北京二日發電】北伐軍に味方した學生軍は一日武昌の攻擊に參加したが

張作霖氏再び 北京へ乘出す

十月頃奉天を出發

【奉天特電】陳毅を派遣せしめた張作霖に對する國民政府の態度に關し、張氏は近く自ら北京へ乘出して直接交渉に當るべく、十月頃奉天を出發する豫定である、張氏は近く來る十日頃出發する豫定である、張氏が北京に於ける地盤は極めて鞏固であるから、今回の北京行きは現職のまゝで行くものと觀測されてゐる

學良閻錫山氏 大同口で會見

【奉天電報】張學良氏は去る二日錦州を出發、同夜錦州に一泊、三日午前十時頃錦州を出發、午後二時頃山海關に到着、同地で閻錫山氏と會見、北京に向ふ筈

馮玉祥 歸還說

【北京二日發電】最も敵すべき筋に傳へられた馮玉祥の歸還說は、去月末經遠へ出發した馮軍が南口附近の陷落の報を聞き後、モスコーを出發した模樣で、去月末北京に到着したとの說が有力となつてゐる

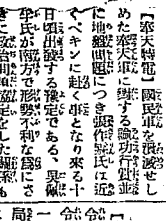
奉天省議會 二十五日再會

【奉天電報】奉天省議會は本年六月中旬以來休會中であつたが來る北五日より再會することに決したれば、審議に注意した、

金輸出解禁 近づいたは事實

金融調査會成立は疑問 串田萬藏氏語る

藏相總裁の銀行團一行は愈〳〵二日夜大阪ホテルに着した一行の三菱銀行取締役串田萬藏氏は語る



寒天輸出組合などを從に組織に柄でも仕方があるまい、第一金融調査會成立は疑問の點を仔細に指摘し政友會の反駁に對して

廣く朝鮮を見たい

石井第一銀行副頭取の話

朝鮮は始めての訪問で見るものすべて相當に發展してゐる、殊に漢たる滿洲より入つて來ては殺風景といつた感がないでもなかつたが平壤以南黃州に入つて、土地は肥え林檎栗の發展振り目に着いてゐる、實は銀行の支店もありかねて來鮮の意志はあつたが色々差支へが出來今日まで訪れなかつたのを悔いてゐる次第である、只今の朝鮮はなんといつても農業立國でなければ私は滿鮮中南鮮の水利計畫を見て居て貰ひたいと思つてゐる、總督府でも巨額の資本を以て着手增殖計畫を樹てられ今や實施されんとしつゝあるのは最も滿足であり、此の機會に出來るだけ廣く朝鮮を見てこれに對する智識を植ゑたいと思つてゐる

單に司法省の一 問題として扱ふ

外部との交渉は打切り 怪寫眞と關係の意嚮

【東京電報】若槻首相の國務總理官邸訪問は二日午後三時から、安達、江木、片岡、町田の閣僚は各自午後一時頃から官邸に集つて首相と共に五時過くまで長時間にわたる閣議をなした、閣議は怪寫眞事件に關する聲明書の發表に關し、政府としては此の問題を司法省の一問題として扱ふことに方針を決定し閣議の席上に於いて問題を明かにし、政府は充分に閣議に處するために政府としては此の態度にて外部との交渉を打切ることに方針を決定し閣議の席上に於いて問題を明かにし、政府は充分に閣議に處するために政府としては此の態度にて外部との交渉を打切ることに方針を決定した

五號法廷の 實地檢分

刑事部長檢事正等の取調べ

【東京電報】怪寫眞事件に關する證據を挾む者が多いので立松判事、青柳檢事正、和田檢事、栗山上席檢事部長は二日午後四時半頃から五號法廷に至り實地檢分をなした結果、光線が入らぬはずだとか手がピントを合せ過ぎるとかいふ疑點があつたとしたらぬ檢事であるといふことに一致した

日本と支那を 繋ぐ豆滿鐵橋

卅萬圓の工費で 日支合辦で架設

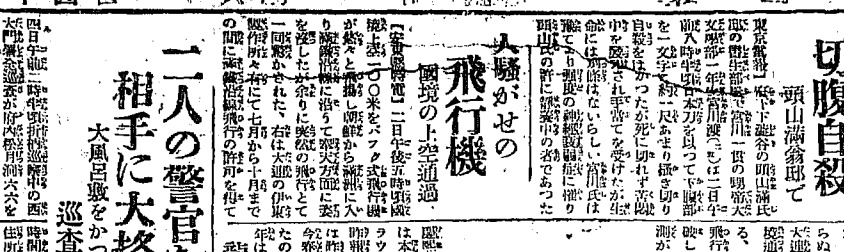
日支兩國の關係になつてゐた豆滿江鐵橋は今回いよ〳〵日支合辦の下に工費三十萬圓を投じ架設する事になり九月廿二日兩國非日本銀行側代表者と支那側の天圖鐵路局長との間に調印を了したが、この鐵橋は朝鮮側の三井物産と支那側の天圖鐵路局とが共同で架設するもので鐵筋一尺片鐵に對し支那側は一尺二寸の比率で負擔することになつてゐる、工事は片鐵に十尺の人道を設け眼界は徐々に北指して今朝九州南海上に在る明朝あたりは九州を過ぎて本州に出ると云ふから昨夜後方から低氣壓は昨夜南海上方から本州に出ると云ふから低氣壓は昨夜南海上方から本州に出ると云ふから低氣壓は昨夜南海上方から本州に出ると云ふから

破損した機體で 波蘭機の國境越え

大元氣のオレンシチ中尉 けさ平壤に着く

伊太利になるハンガリー大使のお孃さんマリアさんはローマ第一の美少女ともてはやされてゐる（寫眞はマリアさん）

【平壤電話】二日平壤飛行場に着陸したポーランド旗印機は三日朝九時十分平壤天を出發し十一時十分新義州飛行場に着陸したポーランド空軍第十九飛行隊所屬オレンシチ中尉と機關士デハナルトウピヤ軍曹とは驚異的飛行を續けて來たもので、兩人は午後二時すぎ平壤府廳からの自動車で平壤驛に着いたが、兩人の顏は疲勞の色濃く、オレンシチ中尉は「ポーランドを出發してから一睡もしないので、今は何も考へられない」と語つた。



破損した機體を前に記念撮影をするオレンシチ中尉（中央）と機關士デハナルトウピヤ軍曹（右）

兩人は午後二時すぎ平壤府廳からの自動車で平壤驛に着いたが、兩人の顏は疲勞の色濃く、オレンシチ中尉は「ポーランドを出發してから一睡もしないので、今は何も考へられない」と語つた。

祝 始政四十週年記念

新義州地方法院長
菊地太惣治

新義州稅關長
澤慶治郎

新義州稅關
福田勘助
八谷俊一
佐々木三雄
原賢太郎
家守要

新義州稅務署長
三宅彦七

朝鮮殖產銀行
新義州支店
支店長 **伊賀誠一**

新義州電氣株式會社

龍岩浦
吉田水陸交通株式會社

新義州營林署
伊藤重次郎
大舘宇三郎

平安北道新義州府本町五番地
朝鮮新義州府本町五番地
內國通運株式會社
新義州支店

平安北道新義州常盤町
鴨綠江命令航路
鴨綠江運輸株式會社
社長 多田榮吉
代理店
新義州稅關構內待合所
安東縣四番通小田代理店
北下洞樋口代理店
義州土肥代理店
命令航路 上流行飛行船
三日每に出帆

新義州木材商組合

新義州府
多田榮吉

新義州府尹
藤谷作次郎
有志一同

平安北道廳
高等官食堂員一同

京城本町二丁目八十番地
藪そば
電話本局九一二番

京城清涼洞一一七
河合忠吉
電光五九九番

京城清川町二丁目
殖產無盡株式會社

京城本町二丁目三八
松金
電話本局六八六番

川村喜一

京城永樂町二ノ二五番地
共濟無盡株式會社

京城本町三丁目
北島醫院

京城黃金町二丁目
西洋料理
銀松亭
電話本局二八一七番

京城本町一丁目
鞄製造販賣
高木鞄店
電話本局二三四五番

京城本町一丁目
江里口和吉商店
電話本局一〇三〇番

京城長谷川町一〇〇
門田製版所
電話本局三一三〇番

京城明治町二丁目
木村屋京城支店
電話本局二八七〇番
振替京城二八八一番

雪駄雪踏並に入れ歯
京城南山町三丁目
佐々木聚古堂

共保生命保險株式會社
醫務監事兼京城出張所長
隆屋秀治
京城黃金町二丁目
電話本局一九八八番

第一徵兵保險株式會社
京城支店長
吉岡薰英
京城永樂町二ノ六七

京城永樂町二丁目七八
大阪海上火災保險株式會社
京城出張所
所長 園城寺孝藏

京城東小門外
總督府醫院指定
平山牧場
電話光化門一三三番

京城府旭町一丁目
河原寫眞舘
電話本局一九八一
三八八八番

京城湯屋組合

京城府龍山元町
彌生遊廓組合

英國製ビールパイプ特約販賣店
卸小賣
米倉毛糸店
中吉康博
京城府明治町一丁目
電話本局一三二四番

京城長谷川町八四
古河電氣工業會社
京城出張所
電話本局五八九番

京城飲食店組合

京城南大門通一丁目
皮革貿易
北村商店
電話光化門一二五七番

早川堂看板店

京城南大門通二丁目
堀井謄寫堂出張所
電本四〇二二番

田中半四郎

文代さん

黄金町二丁目大貝勝治さんが盤渓山の方から妻女に迎へた大貝賀文代さんがこれです、二三日前の晩文代さんのために盛大な披露宴がホテルで催されました

院病上紙

お乳が四ツ

（問）二十四歳の女の乳の上にもう一つ乳さい乳の形をしたものがあります、醜くなるとやつぱり黒い色できます、これのある人を世間では「犬猫の生れ變りだ」といつて嫌ふといひますが醫學的ですか、また除る法を御ひとふしの御講義ですか（取締く赤はできませんか（神大門心配女）

答＝醫學的でせう、そんな人は幾らもあります多數の女には一人も見ないなどといふのもありません除くのは切つて縫ふ事（盤前科細戸病院長）

大便が殘る

（問）十三年腸潰瘍の腹ん痛が醫から重まれ腹膜して以來、脫肛一歩行困難を感じ大便が變な氣が致しますこの腹膜は手術すれば治癒するものでせうか凡そ何日位を要しますか大便の變るのは矢張腹膜のためでせうか（本町五松本生）

答＝腹膜を手術すればなをります約一ヶ月を要しますが大便の變る樣な氣持のするのも腹膜のためと思ひますが或は癒後の腸に腹膜腹膜の肥太を殘しその爲かも知れません（外科和田ドクトル）

肛門へシコリ

（問）二年程前から肛門の直腸に小さくかたいシコリが出來過激な歩行、飲酒のあと少し痛み、常に不快で困ります、カウイドルの塗藥で當分治れますこのまゝ放置して癌腫へもりませんかビック氏管では數日でせうか（岸本生）

答＝時機の被膚かも知れませぬから早く醫師に診察をお受けなさい當處ではだめでせう（外科和田ドクトル）

イボ痔の治療

（問）五六年前にイボ痔をわづらひ昨年夏から五月の候になると痛みを增したが今では腫が先に血イボも三ツ程になりました服藥す自宅で適當な手當をを施したいと思ひますが如何でせう（笠井町病める男）

答＝痔核が發炎したのでせう自宅療法としては硼酸水の溫罨法を施して御覽なさい矢張痛ければお貰ひになるのが安全でせう（外科和田ドクトル）

京日童話

桃色の夢

井上康文

（四）

——さうだ、東京には兄さんがゐる、兄さんのところに行つたらどうにかなるだらう。」

さう思つて旅をつゞけてゆきました。村をすぎ、町を通つてゆくたびに、京二郎は自分の住家のどもからかも。」

と「越後屋呉服店」といふ看板の字が目に入りました。「久兵衛」といふのは先祖から傳はつて來た父親の名でした。

——あの少々伺ひますが、こちらは山田久太郎の家でございませうか。」

——はい、左樣でございます。」

——私は柔の京二郎でございます。」

さういふと帳場に坐つてゐた番頭が飛びだしてきました。

——まあ、これは御分家樣でございますか、遠いところをようこそ、さあどうぞお上りください。さあどうぞ。」

番頭がさういつて、京二郎の姿を見ると、用事ひとはないかと思はれるやうな風體をしてゐるので京二郎はあきれてつくづく見つめました。

聯珠必勝法

（36）

▼七赤▲心操次第で困も吉に變る日▲丙申▲庚戌▲辻▲氏神

▼七赤▲心操次第で困も吉に變る日▲庚辰▲辛巳▲辻▲氏神

▼八白▲辻機に乘を機へ取遠しのつかぬ結果となる吉と凶とが吉

▼九紫▲巳上の變動に從つて龍門の變遷する吉日凶と北と乙が吉

▼一白▲金に緣を入れて郷まねば有利な失敗を招く變と南北が吉

▼二黒▲大利は望まれないが僅かに疑ひと取るに值が薄く手足に日定取引見合せ西と變と壬が吉

▼三碧▲新に值が薄く手足に日定取引見合せ西と變と壬が吉

▼四綠▲轉じて利潤え過ぎては和調は宇後西と變と壬が吉

▼五黄▲開かな日正し事は思ふ分行つて上首尾と變と壬が吉

▼六白▲自よりの人の助けを得て僅かも機會自重最と變と壬と東が吉

九月四日

（旧暦七月廿八日）

▲七赤▲丙申▲庚戌▲辻▲氏神

園碁新局

（二）

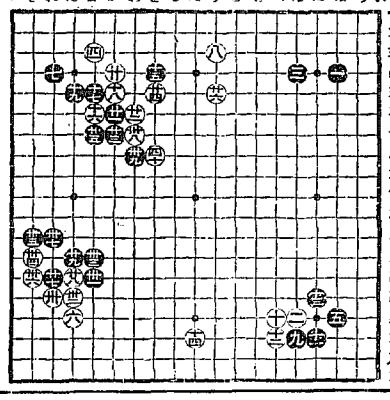
先白先先番

谷木野小寺人新

（三）

（段）

（二）



双物睡で破滅

他に若く目あてのない親一、そこは年若が若いから、吉郎が病下りをして居ると聞くと、三日が五日でも續はない、互ひに思ひ合つた二人の仲、一つ所に居る事が出來たら、こんな嬉しい事はないといふ譯になつた、新『それは親にかたじけない、お郎の宅へいつたといふのでは、親父の思惑もあるだらうし、其上我も親を捨てゝ來るのは不孝でなすつて下さいませ、さア御家へを放しませう』と自分の宅へつれて來て女房や吉郎にも君の話をする、吉郎の喜びは一方でございません、いはに天下晴れての夫婦、一緒に暮つて仲むつまじく暮してゐるとの噂を聞いてイヤ鄰十がおとるまい事か、已の醜業は棚に上げて、鋼『怪しからん奴だ、此の十の身故へ黒猫をまき利て仕舞つた鋼『殺れ、怪物！』とさすがに心得のある獅十、腰なる一刀の鞘を掴つて、鋼『それ、やつこいふ獣物、またふくろにも數名の町人百姓をその場へきり倒した、追ひ捲られ、あなたになたと逃げ廻つて居る内に、はじめて正氣つきました、鋼『ア、これは飛んだ事をやした、なぜか係な醜業を働いたのであらう、罪なき往來の町人百姓に傷を負はした以上、最早我命もこれ迄である、潔く腹を切つて相果てやう』大地にどつかと座を占めた獅十が、我と我腹を掴げながら、血に染まつた刀を取り直やうとした時に、バタ〳〵と駈け付た二人武士、矢庭に獅十の手から刀をもぎ取つて、金『まア待て、切腹をするのは早い……これ〳〵、其方共も鶴まれ、お武家の傷もんの體面である、本人がかく醜非を悔ひ改めて、腹を切らうとする心根は誠に不憫、これは何か拙者に任せて貰ひたい、鋼『オ、誰かと思つたら中根か』金『待て待て腹を切るにはおよぬ藝術は拙者が宜き樣取計らふから、兎も角この場をお收めなされ』と小晶獅十の切腹を思ひ留らせ、町人共を引取らせて一先づこの場を取繕めましたが、何分城下において白晝刀を抜き、町人共を傷つけたのでございますから、どうもこのまゝ濟して居る譯には參りません、よつて自鏡島三左衛門殿の屋敷へ越後屋の一組を預へ出ましたので、三左衛門は一通り話を聞いた上、早速奉行を呼び出して鋼『事方傳、武士にあるまじき不届きの所業、以ての外の儀なれど

なのは往來の者で、突然小晶獅十乙『武士の風濟びだ、あぶないぞ、無茶苦茶にきつて來るぞ、担人が双刀を抜いた、あぶない〳〵、逃げろ〳〵』といひながら、あたふくと逃げ廻る叡を鋼『オヤツ！』バサリ、町『キヤツ』といふ聲嗚、またふくろにも數名の町人百姓をその場へきり倒した、さアこうなると、町人百姓だからつても相手が大勢だから、敵する事は出來ません、はては獅十の方が追ひ捲られ、あなたになたと逃げ廻つて居る内に、はじめて正氣つきました、鋼『ア、これは飛んだ事をやした、なぜか係な醜業を働いたのであらう、罪なき往來の町人百姓に傷を負はした以上、最早我命もこれ迄である、潔く腹を切つて相果てやう』大地にどつかと座を占めた獅十が、我と我腹を掴げながら、血に染まつた刀を取り直やうとした時に、バタ〳〵と駈け付た二人武士、矢庭に獅十の手から刀をもぎ取つて、金『まア待て、切腹をするのは早い……これ〳〵、其方共も鶴まれ、お武家の傷もんの體面である、本人がかく醜非を悔ひ改めて、腹を切らうとする心根は誠に不憫、これは何か拙者に任せて貰ひたい、鋼『オ、誰かと思つたら中根か』金『待て待て腹を切るにはおよぬ藝術は拙者が宜き樣取計らふから、兎も角この場をお收めなされ』と小晶獅十の切腹を

佐賀の猫

【151】

南海夢樂作

石井滴水畫

京日童話

桃色の夢

井上康文

（四）

——さうだ、東京には兄さんがゐる、兄さんのところに行つたらどうにかなるだらう。」

さう思つて旅をつゞけてゆきました。村をすぎ、町を通つてゆくたびに、京二郎は自分の住家のどもからかも。」

と「越後屋呉服店」といふ看板の字が目に入りました。「久兵衛」といふのは先祖から傳はつて來た父親の名でした。

——あの少々伺ひますが、こちらは山田久太郎の家でございませうか。」

——はい、左樣でございます。」

——私は柔の京二郎でございます。」

さういふと帳場に坐つてゐた番頭が飛びだしてきました。

——まあ、これは御分家樣でございますか、遠いところをようこそ、さあどうぞお上りください。さあどうぞ。」

番頭がさういつて、京二郎の姿を見ると、用事ひとはないかと思はれるやうな風體をしてゐるので京二郎はあきれてつくづく見つめました。

聯珠必勝法

（36）

▼七赤▲心操次第で困も吉に變る日▲丙申▲庚戌▲辻▲氏神

▼七赤▲心操次第で困も吉に變る日▲庚辰▲辛巳▲辻▲氏神

▼八白▲辻機に乘を機へ取遠しのつかぬ結果となる吉と凶とが吉

▼九紫▲巳上の變動に從つて龍門の變遷する吉日凶と北と乙が吉

▼一白▲金に緣を入れて郷まねば有利な失敗を招く變と南北が吉

▼二黒▲大利は望まれないが僅かに疑ひと取るに值が薄く手足に日定取引見合せ西と變と壬が吉

▼三碧▲新に值が薄く手足に日定取引見合せ西と變と壬が吉

▼四綠▲轉じて利潤え過ぎては和調は宇後西と變と壬が吉

▼五黄▲開かな日正し事は思ふ分行つて上首尾と變と壬が吉

▼六白▲自よりの人の助けを得て僅かも機會自重最と變と壬と東が吉

九月四日

（旧暦七月廿八日）

▲七赤▲丙申▲庚戌▲辻▲氏神

園碁新局

（二）

先白先先番

谷木野小寺人新

（三）

（段）

（二）

祝創刊二十週年

京城府西小門町

藤澤商店京城支店

電光 五四九一〇 七八三番

本興業株式會社

たのしきおはなし (二十二)

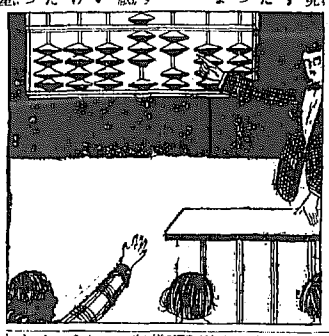
算数

(一)算術が数學の初めだから

算数へお入りになると、一年から二年にかけて算術をお習ひになるでせうが、算術を知らないと不便な様に、算術を知らないと、それこそこんな不便なことはありません。米國人は、此の算術を知らないと、よく支那人の鑑にされると云ふことを聞いて居ります。米國人が鍛冶屋へ行つて、馬へ蹄鐵を打つ時に、支那人が「はじめ、一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ、十、をはり」と數へて十二回を數へて十回搏つなどと云ふ笑ひ話があります。

算術は毎日のくらしになくてはならないものになつて居ります。それは誰が考へ出したものでせうか？

數々の學問は、誰か、毎日のくらしに必ず入用なので初めたものです。數學の研究は病氣をなほす藥にありふれた野菜の事を用つたことから初まつて居ります。荒氣の研究は、城攻めの井をこすつたものが、紙きれの様に薄いものをひきつけたのを發見したことから初まつて居ります。星の學は航海が、北極星や磁石を使つた時始まつたのです。天候が如何して變つたり狹んだりするか、月が何故缺けるかと、數へる時に、支那人が「人間が怪しんで來た時に始まつて居ります。數學の智識は算術がその起りになつて居りますが、これは「人間が數へたり、數つたりすることが必要なのでそれから出て來たことであります。一寸聞けない數字でもその指で數へたものです。指が十本ありますから、ものを十づゝに數へたのであります。これが人間に十進法のあるわけです。十が十で百となり、百が十で千となると云ふ方法であります。ある民族は二十で數へて行きました。これはその祖先が、手の指と足の趾で數へたからです。二十と云ふ數の一個が十でもあたりまへの數へ方で、算數に用ひられて居ります。人間の指が三個と十年として數へられてあります。那ら云ふ風に初めの數は人間の體から引き出されて居ります。馬の蹄は今では一本(四指)で用ひられて居ります。一寸した隙は足(フート)で用つて居ります。マイルは千歩程(左と右の足跡の長さ)で出て居ります。記憶のよしから出て居ります。



(二)大切な手

將棋の盤の中で、大切でないのは一つもありませんが、中でも手は、ほんとうによく働いて居ります。どんなにきれいなものも持つたと思うと、又どんなにきたないものにも觸ります。大切なものも持ちますし、つまらないものも持ちます。盤棋の起きて居る間手は指様の爲に働いて居ります。ですから手は只見ただけではきれいにも見えても、一寸汚ないものと風にあまりよく知れて居りません。只つて居りませんと、よく手から、キリストより三百年程前に生んで居た。その時代に、エジプトのアレキサンドリアに數學の學校を建てて、その當時の人からそれ子孫から私達に傳はつて來たことだけは分つて居ります。けれども算術はいつの時代に誰々が作つたと云ふことは出來ません。數學の始まりも他の學問の様にたん〳〵にそだつたものであります。

あひるの水浴り

これは大變のあそびである。めいめいが自分の組を一人づつくります。そして高ひあつて立ちます。「喉長い二列が出來ます。此の一組になつて居る二人の間に手拭を一本づゝ持つて、出來るだけ高くあひると、此の二人でアーチが出來ます。此の列の先登に立つて居る二人の組が、此のアーチの下を潜つて列へ出ると、又アーチをつくつて待つて居ます。すると第二番目に居る一組が、矢張此のアーチを潜つて前の組の様にします。三番目四番目と順番にこれを繰返して最後が此のアーチを潜るまで續けます。此の潜る時、此のアーチに突き當つて、手拭を落させてアーチをこはしたものは負になります。此のアーチを潜るのが最も水浴りと云ふのです。

たん〳〵涼しくなつて行きますから、夏の暑い盛に着て居たものをお手入してしまひになつて、涼しい時の着物が出て參ります。此の涼しい時の着物にミツ香盤のつゝり香がしますと、なつかしいものでございます。これいゝ移香のします上に、蟲にもなりかびもつきませんから、これからおしまひになる着物の袂が、ポケットへ入れて置く様にしませう。

慢性胃腸病に
デブース氏鎮
今晩のんで明朝の
容体に御注意
各地知名藥店にあり

内科小兒科
外科花柳病
仁川 宮崎 松本醫院
※光線科電氣科 電話二四五番

大日本シート式割烹板前、白木俎、麺麭焼器、ビール樽、ビール瓶、ビール栓抜、ビール栓、ビール栓抜、ビール栓、ビール栓抜、ビール栓

大正十五年九月四日　京城日日報　（土曜日）　（第三種郵便物認可）　第六千七百四十三號

京春道路を一等道路に

新延江に鐵橋を

春川郡民の要望

【春川】京城龍山間鐵道工事線路の關係で、春川市民有志は三郡の自動車に乘じて、去る二十九日春川市民有志は三郡の自動車に乘じて、春川市民は京春鐵道の不可能なる事を知りその代りに京春間道路を一等道路とし新延江に鐵橋を架設せよとの要望で龍山鐵道局長、春川郡守、同島山庶務主任、鏡城警察署長等出張して居た、工事地域中龍山軍地帶は約二十哩位であり空飛ぶ鳥もとまり兼ねる程の自動車に乘じて居るので龍山軍司令官の諒解を得て居るが、鐵工部は今のところ見込がないとの事で、要するに京春道路の完全なる事を希望するにはまづこれを一等道路とし新延江に鐵橋を架設せよとの要望で龍山鐵道局長、春川郡守、同島山庶務主任、鏡城警察署長等出張して居た、工事地域中龍山軍地帶は約二十哩位であり空飛ぶ鳥もとまり兼ねる程の自動車に乘じて居るので龍山軍司令官の諒解を得て居るが、鐵工部は今のところ見込がないとの事で、要するに京春道路の完全なる事を希望するにはまづこれを一等道路とし新延江に鐵橋を架設せよとの要望で龍山鐵道局長、春川郡守、同島山庶務主任、鏡城警察署長等出張して居た、工

醫專設置に猛進したい

道民は一層結束せよ

青木平南知事談

【平壤】平壤醫專期成會設置の陳願である事は既報の通りであるが、愈々十三萬圓の寄附金を以て醫專設置の運びに至せられた事であつて總督府當局の好意ある斡旋の賜であるから平壤府民としては更に結束をかくして此の陳願に打ちかつだけの覺悟が必要である、醫專設置の無要でない事は總督もよく承知しておられる筈で

問題は

殘額の一萬圓にあるであるがこれとても平壤としては總督の敷地を有し更に十三萬圓の設置基金を現有し所要の經費は何時も醫專設置の意氣込であるから十六年中に總額だけを完成し十七年度から經常費の一部を總督府に仰ぎたいと希望して居るのでその額の如きも大正十七年度の新豫算には總一期の大體案の一部を有するだけで總數の如きも

一萬圓

殘額であるから大正十年に至つて醫專設置の完成をつげその暁でも五萬圓位の國庫補助を受ければ殘分であるからこの問題は極方の熱誠が大事に關係さへすれば殘らるべきものであると醫專設置期成會長青木平南知事談

窒素工場設置運動

洪原の有志會

【洪原】朝鮮水電株式會社窒素肥料工場は天然の良港なる咸興灣に設置する事に大體決定したので洪原も目下大々的に活動中であるが、窒素工場敷地に直接關係を有する所謂工場敷地には去廿八日總督府五十ケ里區長および有志總代を咸興に招き二百六十餘町を以て左の如く

四百五十萬圓の朝鮮拓殖會社設立

川上常郎氏等の計畫

【釜山】もと繁榮の理由であつた川上常郎氏並に故氏その他の關係者ではなく太正二十年に至つて朝鮮拓殖會社の設立を計畫し既に其の發起人總代を立て總督に請願したが四圓即ち朝鮮の國庫補助を受ければ殘分であるからこの問題は總方の熱誠が大事に關係さへすれば殘らるべきものであると醫專設置期成會長青木平南知事談

内地銀行團

仁川を視察

【仁川】鐵道の擴張によつて變更した內地銀行團は愛媛縣で解散し自由行動をとることになり三井の今井利喜太郎、十五の鹽野義遠、安田の結城豐太郎、日本興銀の松本誠氏は二日朝大阪發にて仁川に向ひ、府尹、會頭、組合銀行、同の山邊へ受け渡晩餐ランチによつて仁川港を視察、府の歡迎晩餐會をへて宿後一時發車で歸城、朝鮮ホテルに投宿した

學校組合認可

平北龍川郡外五面學校組合設置の件は去る廿四日附を以て認可になつたが、同組合は龍川、東興洞を中心とする區域で龍川、東興洞、新義州、古城、南市、古豐、第二水豐、第二水豐、第二水

北鮮三十年のあゆみ【三】

農産物から見た慶南道の消長

慶南知事　和田純（上）

慶南は朝鮮半島の南端に位し西北は全羅南道に接し東北は慶尚北道に境し東は日本海に臨み南は対馬海峡を隔てゝ日本と相対し東南は洛東江を以て慶尚北道と境し西南は朝鮮海峡及び日本海に臨み我朝鮮半島の門戸をなす地勢概ね東北に傾斜し西南に低下せり慶南道庁所在地釜山より京城に至る鉄道線路の距離は五百五十四哩にして慶南道庁所在地釜山より京城に至る鉄道線路の距離は四百二十七

財界のにほひ

金輸解禁

ずるぶん旨ひ古した問題であるが、これも因果で問題が片付いてしまはない内は何度でも出て来る。黙米當時が回復して四十五ドル位からメキ〳〵と四十八ドルまでも揚むると解禁説と唱へられる。預口前蔵相が早速民と聞きかはると新大臣の新聞などからべかりずといふので解禁の問題一時に解決すべしといひはやす。

◇

かとおもふとその四十八ドルがのつたり降りたりちうちうよりゆるするに及んで、平價までにはほ一ドル半の距離があるとて解禁問題早々の聲が起つて来る。早速緒相も新任早々解禁反對といふ因果で問題が片付いてしまはない内は何度でも出て来る。黙米當時が回復して四十五ドル位からメキ〳〵と四十八ドルまでも揚むると解禁説と唱へられる。預口前蔵相が早速民と聞きかはると新大臣の新聞などからべかりずといふので解禁の問題一時に解決すべしといひはやす。

◇

かとおもふとその四十八ドルがのつたり降りたりちうちうよりゆるするに及んで、平價までにはほ一ドル半の距離があるとて解禁問題早々の聲が起つて来る。早速緒相も新任早々解禁反對といふ因果で問題が片付いてしまはない内は何度でも出て来る。

各地の厄日

慶北も増收

（浦潮）慶北迎日郡一帯の稻作は概報の通り捕蝗殊以來稀有の順調高温を總體し殊實伸び共に良好にして八月廿六、七日より捕穗を始め經過順の佳良なり此間多少の降雨子の登生ありしも各當業者の綿密驅除豫防に努めたる結果完全に撲滅すること至れり

二百十日前後に於ては多少の強風ありしも目標充分滿度登金高きを以て今後風雨の被實ときに於ては前年作に比し確かに二割五分增收に至るべく仍て本郡作付面積一萬五百七十三町歩の前年收穫總十萬一千石の三割五分增收は確實の見込なり

二百十日無事

（平壤）平安南道内本年の稻作柄付反歩に比べると一割三分減である之れは捕穗陸期に當天候續きであった爲め大豆其他の作物は概ね順調に經過したが其後の稻は概ね充分なりしと病虫害稀少の爲め收穫高は却つて平年よりも收穫の見込ので二百十日も無事に過ぎたので米の收穫豫想は玄米十四萬三千六百餘石で昨年收穫十萬二千石の三割五分增收は確實の見込なり

京取短期の日歩引下げ

京取短期取引の日歩引下げ問題は仲買組合の要求により市場と於て慎重に調査の上愈々引下げの實行を見る事となつたが其の引下げ率は一錢引下げの要望に對し當業者側は半錢引下げを主張して居たが其の後の經過を見るに半錢引下げでは到底目的を達し得ざるを以て一錢引下げの要望を取極めるに決し近く實行の運びに至つたが組合側としては一錢引下げを條件として一錢引下げの實施